

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 451 号	氏名	小澤 栄介
学位審査委員	主査 上平 憲 副査 永山 雄二 副査 宮崎 泰司		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、広汎な肝壊死の成立に、活性化マクロファージが関与するとの知見に基づき、活性化マクロファージを反映する血清フェリチン値とALT(alanine aminotransferase)との比(F/A 比)が肝不全予後予測マーカーになるか否かの臨床病理学的研究で、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 この種の研究成果を左右する症例の選択や測定法および測定値の統計処理やその解釈に問題なく、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、予後の予測因子として H0-1 (Heme-Oxygenase-1)、F/A 比および HGF(Hepatocyte Growth Factor)の三種の因子が有意に残り、最終的に F/A 比に HGF 血清レベルを組み合わせることで予後予測の精度を高めることが出来ることを明らかにしたことは、適確に解析・考察していると評価できる。 以上のように本論文は肝疾患の臨床病理学的研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			